

令和3年度着工

(令和4年度 第1回計画変更)

令和6年度 第2回計画変更

道営水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備型））

変更計画概要書
(第2回計画変更)

大^{たい}正^{しょう}南^{みなみ}2地区

北海道十勝総合振興局

※変更計画概要書の「Ⅱ変更後の概要」に関しては、当初法手続に係る「計画概要書」ほぼ同じ項目設定であるので、内容に変更なければ当初法手続時と同じ内容を記載する。

3 事業費						
事業種	区分	現計画 (千円)	変更計画 (千円)	増減 (千円)	増減の内訳 (千円)	変更の有無
農業用排水施設 (用水路)		125,000	96,000	▲ 29,000	自然増減 11,000 工法変更 事業量変更 ▲ 40,000 その他	有
区画整理		983,000	1,062,000	79,000	自然増減 45,000 工法変更 事業量変更 34,000 その他	有
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
計		1,108,000	1,158,000	50,000	自然増減 56,000 工法変更 事業量変更 ▲ 6,000 その他	

Ⅱ 変更後の概要							
1	目的 本地区は帯広市南部に位置する大規模畑作の農業専業地帯である。地域では国営事業及び道営事業により基幹的な基盤整備が行われてきたが、一部で急傾斜等の地形条件や近年の気象変動に伴い、丘陵地をはじめとする低地や窪地での排水不良となるほか、石礫を含むほ場では作物の生育不良や農作業の支障となっていることから、本事業により、土壌及び排水性の改良をおこなうと共に農業用排水路の整備を行い、担い手農家や地域農業の更なる合理化と安定化を図る。						
2	(1) 地域の所在		帯広市				
	(2) 地域の現況						
	ア 地形	帯広市は十勝中部に位置する。大正南2地区は帯広市の南部にあり、中央部に途別川、西部に札内川、南部に牧場川が流れる低中台地からなっており、地形は概ね平坦である。					
	イ 地質	火山灰で構成され、低地でも混入している場合が多い。					
	ウ 土壌	Ⅰ多湿黒ボク土、Ⅱ淡色黒ボク土、Ⅲ褐色低地土					
	エ 気象						
	平均気温	6.7 °C		かんがい期平均気温	16.0 °C		
	平均降水量	871.7 mm		積雪深	cm	平均降水日数	93.7日
	根雪期間	12月11日 から 3月20日		無霜期間	5月17日 から 10月9日		
	オ 水利状況	市内には大小様々な河川が貫流しており、その全てが十勝川水系に属している。					
カ 営農状況	畑作4品目(小麦・豆類・てんさい・ばれいしょ)の他、長いも、ごぼう、大根等、高収益作物が作付けされる大規模畑作の農業専業地帯である。						
キ 地域環境の概況	帯広市は、十勝総合振興局管内の中央部に位置し東西に47km、南北に43kmの広がりをもっており、年間の日照時間が2,000時間を超える多照地域で寒暖差の激しい内陸性気候である。						
(3) 受益地積及び関係戸数							
区分	地目	田 (ha)	畑 (ha)	山林・原野 (ha)	計 (ha)	受益戸数 (戸)	
	全体	現況	448.8	2.1	450.9	44	
		計画	450.9		450.9	44	
3	(1) 事業計画内容 競争力のある攻めの農業を実現する対策として、国営かんがい排水事業に関連する末端の用水施設整備を行うとともに、区画整理による大区画や勾配修正、暗渠排水による排水改良、除礫等を行い、効率的な畑作農業経営の確立及び農業の生産性の向上を図る。 (2) 環境との調和への配慮 農業生産活動に伴う環境に対する負荷を軽減し、農業・農村の多面的機能による環境保全と住みよい環境づくりに取組んでおり、豊かな自然を維持しつつ、景観や環境に配慮した工事、生態系に配慮したほ場の整備を進める。						
4	工事又は管理の要領	事業種	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量及び事業内容		
		農業用排水施設(用水路)	8	41.1	畑かん A=41.1ha		
		区画整理	41	415.8	整地工 48.5ha、暗渠排水 237.2ha、心土破碎 38.4ha、除礫 3.4ha、客土 27.3ha		
		施設名	管理団体名		管理方法		
		造成又は改良される施設の管理方法等	帯広市		草刈り、パイプ清掃		

換地計画の要領	5 (1) 換地計画樹立の必要性									
	(2) 換地計画樹立の基本方針									
	ア 従前の土地の地積の基準									
	イ 農用地集団の方法									
	換地区		地帯別、グループ別団地の設定		個人別換地の方法					
			位置選択		1戸当たりの目標団地数		区画畦畔の取り扱い			
	ウ 非農用地の換地方針									
	換地区		種類	非農用地区域の位置の概略	面積	換地の手法	換地取得予定者	その他		
					ha					
	エ 清算の方法		条検査差種清算方式							
	(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積									
	換地区		機能交換に係る土地			一般公有地	合計			
			国有地	道有地	市町村有地	計				
		ha	ha	ha	ha	ha				
(4) 換地処分の時期に関する特則										
費用の概算	6 事業種		事業費			負担区分	工期	関連事業費	備考	
			国	道	その他					
	農業用排水施設		千円	千円	千円	千円	令和3年度 ～ 令和9年度	千円	318,250	
	区画整理		96,000	49,920	26,880	19,200				
			1,062,000	552,240	297,360	212,400				
		1,158,000	602,160	324,240	231,600	318,250				
効用	7 (1) 事業効果									
	効果項目		食料の安定供給の確保に関する効果	農業の持続的発展に関する効果	農村の振興に関する効果	多面的機能の発揮に関する効果	その他	計		
	効果額		202,866				24,486	227,352		
	所得額		202,798					202,798		
	(2) 事業の効用									
	項目	事業種	農業用排水施設	区画整理				地区全体	備考	
	総便益額		714,778	3,898,428				4,613,241		
	総費用		363,977	1,233,965				1,597,942		
	総費用総便益比		1.96	3.15				2.88		
	総所得償還率		45.5	7.7				11.3	20%超は下段入力	
増加所得償還率		22.9	-					40%以下		
他事業との関係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法					9 計画(変更)概要図 別図のとおり				
	該当なし					10 その他				
(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法					該当なし					
該当なし										